

## クロツバメシジミ

*Tongeia fischeri shojii*

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧(NC)

### 種の概要

前翅長10～16mm程度。翅の表面は黒褐色、裏面は淡褐色で、小黒点を散布する。後翅には短い尾状突起を備える。主に露岩地や河原に生息し、幼虫はツメレンゲ、マンネングサなどを食べる。年多次性で、成虫は4月～10月に出現する。



写真提供：近藤伸一

### 国内分布

本州、四国、九州、徳島、対馬

### 県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、三木市、小野市、加西市、姫路市、神戸町、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		

### 特記事項

旧15市町で43箇所の記録がある。瓦屋根などを生息場所とする市街地では1970年代までに見られなくなり、岩場の生息地は1990年代に激減した。市街地の瓦屋根の葺き替え、岩場のモルタル吹きつけなどにより生息場所が消失した。

### 保護上の留意点